

出口修さんは幕末維新の八幡ということで、その背景となる幕府や藩の当時の様子の前に日本が置かれた状況を、白板に世界地図を書いて説明して下さいました。1853年6月3日浦賀に黒船が来航しました。鎖国状態だった日本に対して世界ではグローバル化していると言って開国をせよとしました。日本開国をアメリカが必要としたのはゴールドラッシュによってカリフォルニア等のアメリカ西海岸が発展して太平洋横断航路の開設が必要になったのです。それは、その当時欧州各地で戦争が行われ、イギリスはインド中国を開国させていました。その情勢の中で、アメリカも商品市場の開拓のためにアジア、日本に目を向けてきた。日本で石炭、薪、食料、水補給等が出来るのは大きかったのです。今の世界の戦争とは違いますが、重なる所があって、話題も現在のことにふれられました。人が子どもが殺されるのはたまりません。



(黒船来港 ネットより)

それは、その当時欧州各地で戦争が行われ、イギリスはインド中国を開国させていました。その情勢の中で、アメリカも商品市場の開拓のためにアジア、日本に目を向けてきた。日本で石炭、薪、食料、水補給等が出来るのは大きかったのです。今の世界の戦争とは違いますが、重なる所があって、話題も現在のことにふれられました。人が子どもが殺されるのはたまりません。

- ① 日時 2026年4月22日(水)13時30分～
- ② 講師 出口修さん
- ③ 参加費 100円

**八幡まるごと館**/八幡市男山松里12-20

(TEL&FAX) 075-983-3664

(E-MAIL) [yawata@marugotokan.net](mailto:yawata@marugotokan.net) 作られた  
ホームページは <http://marugotokan.net/>  
又は、八幡まるごと館で検索して下さい



八幡まるごと館は街行く人のだれもが自由に立ち寄れる“地域サロン”です。休館日は毎週火曜日全日と土・日午後です。